

●全日制：令和元年(2019)度 1学期 水泳学習

1学期の水泳学習は7月8日・12日・15日の3日間、今年度もピアマリン様のご厚意でプールをお借りして実施いたしました。

開設コースは、①初級コース、②クロールAコース、③クロールBコース、④平泳ぎコース、⑤背泳ぎコース、⑥メドレーコースの6つでした。練習は児童生徒の泳力に合わせて実施をしました。昨年度と同じコースを希望して練習をしていた生徒が、コース担当の先生から「去年と比べて、すごく上手になったね！」とほめられたことがとても自信となり、2学期に行われるレオパレスリゾート・グアムでの水泳学習に向けて意欲を高めていました。

他にも、背泳ぎコースと平泳ぎコースからメドレーコースの上級者にお手本のお願いがあり、泳いでもらおうと、各コースの児童生徒からは「すごいー…」「さすがだな…」といった声がたくさん出ていました。児童生徒同士でお互いの泳ぎを見合って、教えあう時間なども設定されて、良いところや改善点などを知ることができ、泳ぎ方への理解を深めていました。

また、タイムトライアルをした児童生徒からは「〇〇秒早くなりました！」という喜びの声をたくさん聞くことができ、とても充実した水泳学習になりました。



お手本



準備体操



クロール



背泳ぎ



教えあい

● 補習校創立の背景

先日、補習校の書架にある古いノート「日本語学級諸行事記録帳」に目がとまりました。表紙には「1975年開校」とあります。補習校の設立は確か1973年。この2年の違いが気になります。



1975年9月9日開校式にて浜中総領事挨拶

一方、「学校要覧」の綴りを開いてみると・・・、「1972年日本人会結成とともに教育部が設けられ日本語教室開設を計画」「1973年5月20日、日本航空のご好意で空港事務所内の会議室を借用して、日曜日だけの授業が始まった。これがグアム補習授業校の始まり」とあります。残念ながらこのときの児童生徒数は定かではありませんが、「始めた当時、子供達の数は一十人程度だったと思います。」(創立20周年記念誌初代校長メッセージ)とあります。小学生も中学生も同じ部屋で、一緒に勉強したようです。

その後、1974年7月、Joinusホテルに日本人会事務所が開設され、日本語教室も同ホテルに移転。「小学校1年生から中学2年までの20人位だった」(20周年記念誌第3代校長メッセージ)とのことです。

そして、この古いノートには、「1975年9月2日(火)セント・ジョーンズ校内にグアム日本語補習学校開設、本日より授業開始。生徒数()名。」とあります。()は、あとで記入しようとしたのでしょう。(学校要覧には28名とありました。)

また、翌週9月9日(火)には、総領事を迎えて開校式が行われたこともノートに記されています。

つまり、「補習学校」の名で開校したのは1975年ですが、その前身「日本語教室」が1973年5月20日(日)に始まり、補習授業校の創立は1973年だったのです。

このノートは「父兄会」の活動記録だったようで、「1975年11月8日(土)グアム島で初めての日本語補習学校運動会が開かれる。諸係を父兄が担当し、親子総ぐるみの運動会となった。」と、第1回運動会が保護者の運営で行われた記録があります。また、水泳会、航空基地見学、タロフォ滝遠足などの校外活動を、保護者が引率して毎月のように実施した記録もあります。補習授業校創立の陰には、日本人会と保護者のパワーがあったのです。

補習授業校 校長 井澤 恒晴

このページに関するお問い合わせは日本人学校、補習授業校事務局734-8024/25までお気軽にお電話ください。詳細はホームページもぜひご覧ください。http://japaneseschoolguam/